

令和6年 明治大学戦没学徒忠霊殿慰霊祭 のご報告

7月10日、新潟縣護國神社において令和6年 明治大学戦没学徒忠霊殿慰霊祭を執り行いました。今年はお来賓として下記の皆様のご臨席を賜りました。

学校法人明治大学	理事長	柳谷 孝 様
明治大学校友会	会長	北野 大 様
学校法人明治大学	経営企画担当常勤理事	岡田 誠司 様
明治大学校友会	相談役	徳丸 平太郎様
学校法人明治大学	顧問	長吉 泉 様
学校法人明治大学	校友連携事務長	竹内 亮 様
学校法人明治大学	生田学生支援事務長	幕内 達二 様
新潟縣護國神社	禰宜	伊藤 豊彦 様
明治大学新潟県父母会会長		伊藤 正紀 様
明治大学新潟県父母会副会長		小林 芳紀 様



慰霊祭では祝詞に続き、戦没学徒 324 柱の御霊に対し、謹んで明治大学校歌を三番まで奉納しました。指揮は今年も応援団 OB 真柄雄一氏（平3法）が務め、「フレ フレ 明治」のエールが高らかに雨の境内に響き渡りました。その後、参列者全員による玉串拝礼と続き、最後に柳谷理事長よりご挨拶を賜りました。

柳谷理事長は明治大学（明律大学）が舞台となった朝ドラ「虎と翼」にも描かれた戦争の悲惨さを引合いに出され「先輩方のおかげで今日の明治大学と私たちがいる。明治大学は戦争の現実を決して忘れることなく、人類の平和に貢献する大学として、一層の発展を目指して行く」と誓いを新たにされました。

会場を移して行われた直会では、高橋淑浩 新潟県支部長（昭49商）の開会挨拶に続き、明治大学校友会 北野会長、新潟縣護國神社 伊藤禰宜、学校法人明治大学 長吉顧問（長吉顧問は2006年、本忠霊殿が建立された時の理事長）よりご挨拶をいただきました。

北野会長は、戦後日本が戦禍に見舞われなかったことを幸いとしつつ「先輩方の無念を思い、明治大学校友会は、大学と力を合わせ、明治大学を一層発展させる義務がある」と述べられました。

献杯は、明治大学校友会 徳丸相談役より「おかえりなさい」のご発声をいただき、しばし歓談。締めにあたり、神林 裕 新潟地域支部長（昭50政経）から学校法人明治大学へ、学校法人明治大学 岡田常勤理事から校友会新潟県支部へ、万歳三唱によるエール交換が行われました。最後に、大竹雅春 長岡地域支部長（昭60商）より参列者の「明治愛」をたたえる言葉が送られ、閉会となりました。





【後記】

▼あいにくの雨の中、今年も7月10日を迎えました。折しも今年の朝ドラ「虎に翼」が好評で、例年以上に母校への想いが高まる中で迎えた慰霊祭は、新潟で執り行う70回目の慰霊祭となりました▼柳谷理事長、北野会長、高橋支部長それぞれのご挨拶の中で先輩方の「無念」という言葉が述べられました。学徒出陣から80年以上経過した今日、この慰霊祭は、先輩方の「無念」が忘れ去られることがないように、次世代に繋いでいく使命を負っています▼

幸い今年は、初めて令和世代の校友の参列があり、嬉しく、心強く思いました。新潟県支部の一員として、これからも大学、校友会とともにこの「祭り」を繋いでいく名誉と使命を想う一日となりました。（杉本記）